

研究だより

No. 3
平成29年5月18日

参観授業のようす(5・6年 国語科)

先週は、村上先生が行われている国語科の授業を参観しました。6年生の説明文の単元の学習でした。本時は、単元の導入にあたる2ページの短い説明文でした。

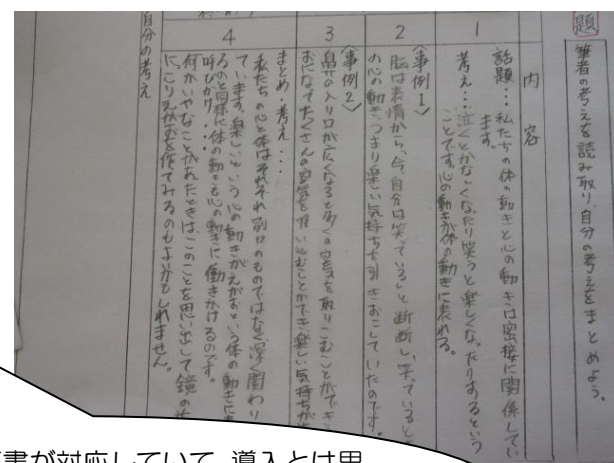
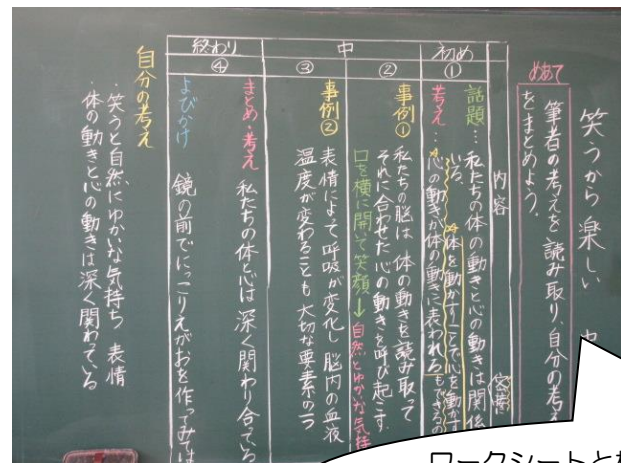
村上先生は、説明文の構造を理解させるためのワークシートを用意して、子供達に「はじめ」「中」「おわり」に書かれている内容を整理させていました。

この授業で感じたことは、村上先生は「単元をつらぬくアイデア(本質)」を大事にされた授業をされているということです。

次時から始まる長い説明文でも、「はじめ」「中」「おわり」の構造は変わりません。導入でしっかり説明文の仕組みについて理解させておくことで、長い説明文になっても子供は「あの時と同じように考えて整理したらいい。」と考えの見通しを持つことができると思います。

村上先生は算数科だけでなく、どの教科でも「単元をつらぬくアイデア(本質)」にこだわった授業をされています。本質を追求していくことで、本校の目指す「主体的・対話的で深い学び合い」が実現できると村上先生の授業を参観して強く思いました。

そのためには、やはり日常の授業改善が大切です。研究授業の時だけ、派手な取り組みをしても子供に学力はつきません。年間を通して、どの教科でも「単元をつらぬくアイデア(本質)」を教材研究によって教師が理解し、実践し、その力を見取るための単元課題に取り組み改善していくというPDCAサイクルに則っていくことが子供の学力向上につながる唯一の道です。一緒に頑張っていきましょう！！

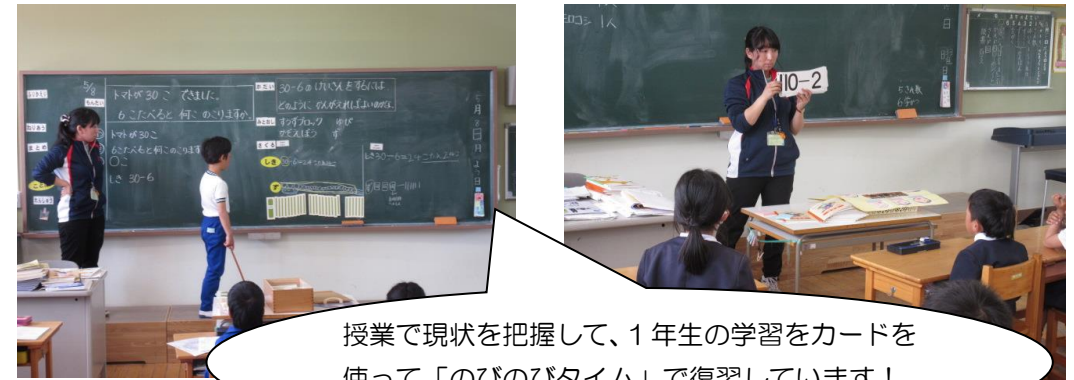


ワークシートと板書が対応していて、導入とは思えないほど子供の活動時間が長かったです！

単元をつらぬくアイデア(2年 算数科)

現在、6月9日の第1回授業研に向けて、寺川先生は「単元をつらぬくアイデア(本質)」を追求した授業改善に取り組んでいます。「2けた-1けた」の計算を「10のまとまり」を使って考え、説明させるようにしています。

1年生での既習事項も振り返りながら、先生自身が悩み、考えています。頑張りましょう！



授業で現状を把握して、1年生の学習をカードを使って「のびのびタイム」で復習しています！

三和小学校の校内研修に参加しました

5月11日(木)に三和小学校の校内研修に参加しました。校内研修を今年度は、中学校区で揃えるということで、まずは自分が理解することを目的としていたこともあり、参加した様子をたくさん写真に撮りました。

初めての取り組みなので、戸惑わない先生はいないと思います。しかし、目指すゴールは、あくまで中学校区の研究テーマである「主体性を発揮する子供の育成」です。研究部と評価部は別々の観点からではありますが、1つのゴールに向かって進んでいくというイメージを早い段階で共有できたらと思います。

